


かんちがいしやすい和製英語

年	組
名前	

^{わたし}私たちはふだん、カタカナで表される言葉をたくさん使っています。その多くは英語の単語を表したのですが、中には日本で独自に作られた言葉（＝和製英語）があります。和製英語を英会話の中で使うと、意味が通じなかったり、意味を誤解されたりすることがあるので、注意しましょう。

My father is
[マイ ファーザ イズ
a salaryman.
ア サラリーマン]
(私の父はサラリーマンです)



What? (何?)
[(ホ)ワット]
給料男!?




かんちがいしやすい和製英語一覧 ^{いちらん}

サラリーマン

- × salaryman
- office worker
[オーフィス ワーカ]



salary (サラリー) は英語で「給料」という意味です。「給料をもらって働く人」というイメージから「サラリーマン」という言葉ができました。

テレビゲーム

- × TV game
- video game
[ヴィデオウ ゲーム]



英語では「テレビゲーム」ではなく、「ビデオゲーム」と言います。また、テレビも television (テレビジョン) の略“TV” からできた言葉です。

アイドル

- × idol
- pop idol
[ポップ アイドゥル]



英語の“idol” は、本来「すうはいされる人物」という意味で、日本で使われているような「アイドル」という意味はありません。英語では pop idol や movie idol といった形で限定して使います。
[ムーヴィー アイドゥル]

テイクアウト

- × take out
- take away
[テイク アウェイ]



店で食べ物を持ち帰るときは、“Take away.” または “To go.” と言います。店内で食べる場合は
[トゥー ゴウ]
“For here.” と言きましょう。
[ふー ヒア]

英語として海外で使われている日本語

有名な言葉では、sushi (すし), anime (アニメ), manga (マンガ), otaku (オタク), karaoke (カラオケ) などがありますね。最近では、bento (弁当), dashi (だし), teriyaki (照り焼き), bonsai (ぼんさい) などもよく使われています。

クールジャパン (Cool Japan) として日本文化が海外で評価されているから、このような日本語がそのまま使われているのですね。

